Marine Paint Manual

リファレンス No. 14 - 03 作 成 2011年4月

NOA 10 M

安全衛生、環境問題を考慮し、優れた耐摩耗性を有したエポキシ樹脂塗料です。SI機能を持つ補修船用のマルチパーパスA/Cプライマーです。

耐水性、耐海水性と耐候性に優れ、船舶の外板部だけでなく、非没水部にも適用可能です。外舷部までの一括塗装が可能で、従来の塗り分けに比較して工程の削減に寄与します。SI機能で、1回で確実に規定膜厚を確保し、防錆力をアップします。また、優れた塗膜強度により、メカニカルダメージが軽減されるため、更に防錆力がアップします。

この塗料は、SI テクノロジー(特許)が付与されており、色相変化をチェックすることにより、塗装者が塗装中に目視で規定膜厚に達したことを判定できます。規定膜厚に達した時にフルカラー(完全なバフ色)になるので膜厚が足りない部分が容易に目視判定できます。

用途 外板 (水線、外舷含む), デッキ, 上構外部, カーゴホールド等修繕船用防食塗料

タイプ エポキシ(耐摩耗型/厚膜型/2液型)

色 バフ 光沢 艶なし

ボリュームソリッド 63 ± 2% (ISO3233:1998)

ドライ膜厚 175 ~ 250 μm ウエット膜厚 278 ~ 397 μm

理論塗付量 0.361 kg/m² 0.278 L/m² (175 μm)

乾燥時間 指 触 5 時間 (5℃)* 2 時間 (20℃) 1 時間 (30℃)

硬 化 24 時間 $(5^{\circ}C)^{*}$ 14 時間 $(20^{\circ}C)$ 10 時間 $(30^{\circ}C)$ 完全硬化 10 日 $(5^{\circ}C)^{*}$ 7 日 $(20^{\circ}C)$ 5 日 $(30^{\circ}C)$

*低温用にはNOA 10 M LTがあります。

塗り重ね可能時間 表(1)を参照して下さい。

シンナー ニッペエポキシシンナー (希釈率 0~10%, 重量)

塗装方法 エアレススプレー チップサイズ (フルコート) 0.59 ~ 0.64 mm

(チップNo. グラコ 623, 625)

(T/U) 0.43 mm

(チップ[°]No. グラコ 517, 617)

ファンアングル (フルコート) 55 ~ 62°

(T/U) 45 ~ 55°

2次圧 150 ~ 200 kg/cm²

刷毛 小面積のT/Uのみ

前回入渠時にNOA 10 Mが露出している場合、A/Fの塗装前に(付着性を

良くする為)、NOA 10 Mの新たなT/Uが必要です。

混合比率(重量) 塗料液 84 / 硬化剤 16

可使時間 6 時間 (5℃) 3 時間 (20℃) 2 時間 (30℃)

荷姿 20 kg (塗料液 16.8 kg, 硬化剤 3.2 kg) 4 kg (塗料液 3.36 kg, 硬化剤 0.64 kg)

荷姿は国によって異なる場合があります。

ワールドワイドブランド NOA 10 M

引火点 塗料液 24℃, 硬化剤 6℃

Marine Paint Manual

NOA 10 M

作 成 2011年4月

表面処理高圧水洗で塩分及びルーズな旧塗膜は除去してください。

必要に応じ旧塗膜剥離部はスケラー・ディスクサンダーで平滑にしてください。 損傷部・発錆部は、必ずブラスト又はディスクサンダーで除錆してください。 ISO-Sa2.5 (ブラスト処理)、又は ISO-St3.0 (パワーツール処理)を

実施してください。

安全本商品を取り扱う場合は皮膚への付着、目への接触を避けるように、

手袋、保護メガネ、マスク、保護クリーム等を使用してください。

塗装中及び乾燥中には充分な換気を実施し、必要に応じてガス濃度検知を

実施してください。

商品を使用する前にはMSDSの内容を確認の上、ご使用ください。

参考データ

表 (1) = 塗り重ね可能時間

下塗 →	NOA 10 M					
	最 短			最 長		
↓上塗	5°C	20°C	30°C	5°C	20°C	30°C
NOA 10 M	5 時間	3 時間	2 時間	フリー	フリー	フリー
エコロフレックス SPC	5 時間	3 時間	2 時間	5 日	4日	3 日
ビオフレックス 1000	5 時間	3 時間	2 時間	2 日	1日	1日
ポリウレマイティラック M	24 時間	14 時間	12 時間	10 日	7日	5日
ニッペ エポキシ フィニッシュ M	5 時間	3 時間	2 時間	フリー	フリー	フリー
ニッポン Aーマリン フィニッシュ	5 時間	3 時間	2 時間	5日	4日	3 日

<<u>注意事項</u>>

- 1) 事前の連絡なしに内容を変更することがあります。
- 2) 上塗の種類により塗り重ねインターバルが異なりますので、上記上塗塗料以外を使用される場合は当社にご相談ください。
- 3) 旧塗膜の上に塗装する場合、若干変色する場合がありますが、性能には問題ありません。
- 4) CDP型A/F (水和分解型, 崩壊型)の旧塗膜の上に塗り重ねる場合、発泡する事があります。 出来るだけ旧塗膜とのラップ部を少なくする様塗装して下さい。発生しても性能には影響ありませんが、 必要な場合は板・ブラシ等で発泡部をつぶした後A/Fを塗装してください。
- 5) 塗料は、塗料倉庫に保管ください。